

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年 4月22日

事業所名 放課後等デイサービス フリージア

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	4	7	遊戯室を活用している 来所される人数により部屋が狭い時がある。場面によって遊戯室や活動内容を考え過ぎていた 現在の配置やツールなどが見やすくなっている隣接する他の部屋を活用できる状態であり、実質的には問題ない	子ども達の特性を考え、密になることにより不適切な行動が誘発されないように、空間を有効活用していきけるように努めていきます。また、活動によって場所を変えるなどして、スペースを無駄なく使えるようにします。ツールは、子ども達の様子を見ながら分かりやすいものを作成し、意識に入りやすい場所に設置していきます。
	2	職員の配置数は適切である	3	6	4	利用者が少ない時は大丈夫だが基本的には適切でないと思う 専従職員では不足のケースもあるが他部署からのヘルプで支障なし	必要ならば他部署からの協力をあおぎ、子ども達が安全に過ごせるように臨機応変に対応します。子ども達の様子によっては1対1で対応する場合も考慮し、適切に配置できるようにするため、活動内容を変更することも検討します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	2	0	鍵の位置が低い段差が少なくて良いと思う バリアフリーに配慮した施設ができたばかり	鍵の位置が低くて子ども達の手に触れてしまう場合、危険度によってはふさぐことも検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	5	0	日常的に毎日そうした時間が設定しており、むしろ時間が余る日もあるほど	定期的な会議開催及び日々のミーティングを引き続き行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	6	1	実施しているかわからない 保護者との意思疎通は施設としての最重要項目としており、業務改善に結びついている	年に一回、保護者向け評価表アンケートをとっています。職員間で評価された内容を共通理解したいと考えていますが、じっくりと話し合うことができていないところもあり、今後は時間をしっかり作る予定です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	6	4	実施しているかわからない	公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	7	2	実施しているかわからない 外部評価については担当業務外であり解らない。	行政からの評価を受けて指摘された案件はしっかり受け止め、早急に改善するべく動くようにしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	5	0	毎日の打ち合わせ含め、研修単独の機会も月2回設定してあり確保中	現在コロナで外部研修自体が少なくなっていますが、今後は知識を広げるための内部研修にも力を入れていく予定です。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13	0	0	直接の担当外ながら実行されていると承知	面談をしっかりと行い、困り感やご要望・将来像などを聞き取るようにしています。支援方法については、細かく分析を行った上で設定し、本人にあった計画作成に努めていくようにします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	4	0	少しずつ改善されているが、個別によって分かりやすいツールを使用したほうが良い場合があると思う。今後、制作し使用していきたい。 担当外ながら実行されていると承知。	標準化されたアセスメントツールを活用しています。必要ならば、個別に作成したものをを使用することに対して、柔軟に対応していきたいと思えます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	2	0	担当の中心職員を軸に関連する全職員が何らかの形で参加している。	活動プログラムは週ごとに担当を振り分けて大まかな内容を決めています。その後、会議にかけて多様な意見を取り入れながら具体的に練っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	4	0	既存のプログラムも随時変更していくのに加え、新規のものにも常に取り入れる体制でいる。	子ども達の力を伸ばすため、多様な活動プログラムを設定するようにして、固定化しないようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	3	0	各クラス年齢別で多少違うが毎日変更、改善を加えている。	継続が力になることも多いので、子どもによって何ヶ月か継続して同じ課題を提供をしています。反対に、自ら課題の選択を行い、日々異なる課題に取り組む場合もあります。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	3	0	個別で一人ひとりの特性・集団活動で社会性を意識しながら対応している	子ども達の特性や興味関心・伸ばしていきたいことについて情報収集・分析を行い、丁寧に計画作成を行うようにしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	2	0	休日は打ち合わせに時間が取れないので課題実施はしているが、移送の関係上難しい事が多い。 ほぼ毎日欠かさず事前ミーティングで確認し合っている	平日は全体ミーティング15分、クラスミーティング15分の時間を作り、活動内容や支援方法・役割分担について共通理解を行うようにしています。土曜日や長期休みは時間を作ることが困難な状態だが、隙間時間に話し合いを行ったり、LINEを使った報告などに変更して、工夫するようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	8	2	当日は難しい。気付いた時は個別で。その時により話ができなかったり職員同士が移送ですれ違いな事が多い。直後ではないが、翌日ミーティングで前日の問題課題の各点を出し合い共有している。	帰りの移送が終わってから、緊急な案件については当日話し合いを行っています。翌日に持ち越すこともあります。勤務時間内で効率の良い働き方を行うべく、柔軟に行うようにしています。課題や問題はそのままに放置することなく、大きな改善事項は月に1度の職員会議で議題に挙げていくようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	3	0	日誌として電子・紙の2通り(過渡期のため)で記録。その後の支援に生かしている	個別支援計画にある目標に対して、子ども達の様子はどうか、気になることはなかったかなど、毎日細かく記録をつけることは、その後の支援に大きく役立ちます。今後も継続して行っていく予定です。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	4	0	その担当ではないが、定期的に個別で計画見直し中。	子ども達の成長やつまづきを敏感にとらえながら、定期的にモニタリング・見直しを行うことは非常に重要だと認識しています。一人ひとりの力を確実に伸ばしていけるように今後も継続します。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	9	0	分かりません。同上の一環として対応中	ガイドラインについての職員間の共通理解が薄いところがあります。今後の課題として、勉強会などを行う必要性を感じています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	1	0	会議に出ない為、分かりません。 詳細は担当外のため分からないが対応しているはず。	児童発達支援管理責任者が主に出席しています。日々の支援の状況を情報収集したうえで会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	2	0	詳細は担当外のため分からないが対応しているはず。	最近の様子についての情報共有や、口頭での申し送りなどについては、送迎時などに細かく行っています。子どもの下校時刻や行事予定などについては、保護者と事業所間で連絡調整を行っています。基本的に保護者からの依頼により、対応する形をとっていますが、例外もあり、臨機応変に対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	7	2	分かりません。 詳細は担当外のため分からないが対応しているはず。	医療行為は出来ないで、医療行為に関することは本人が管理し、見守りのみ行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	4	1	詳細は担当外のため分からないが対応しているはず。	担当者会議などを通して、細かい情報共有を行うようにして、混乱なく次の支援(サービス)に移行できるようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	4	0	詳細は担当外のため分からないが対応しているはず。	担当者会議などを通して、細かい情報共有を行うようにして、混乱なく次の支援(サービス)に移行できるようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	8	1	分かりません。 詳細は担当外のため分からないが対応しているはず。	支援に困った時は相談・助言をお願いすることもあり、いただいた助言は職員間で共有して支援に取り入れています。現在はコロナでオンラインの研修が多いですが、個々に申し込みを行い、知識増幅に努めています。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	11	コロナの為、交流なし そうした事例はない	現在は積極的に行っていませんが、今後検討していきたくと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	9	4	分かりません。 担当外のため分からないが参加はないと思う。	現在はほぼ出席していない状態です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	3	0	事業所として最重点テーマであり、常に対応の努力をしている。	保護者に対しての連絡は、大切なお子様をお預かりするうえで、最重要事項だと考えています。信頼関係を継続し、より良い支援を行うために細かくお伝えすることを心がけ、発達の状況や課題について共通理解できるように努めていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	6	5	分かりません。 そのレベルまでは実際のところ手が回らない	保護者からの困り感を共有し、問題行動などの改善に対してのアドバイスを求められた時は、実践しやすい方法などの助言を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	4	0	担当外ながら確実に対応しているはず	初回契約時に説明を行うようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	6	0	相談を持ち掛けられれば 確実に対応している。	一生懸命に向き合っておられることを受け止めながら、押しつけがましくならないように配慮を行い、適切な助言と支援を行うようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	8	分かりません。 そこまでに至っていない	現在は保護者間の連携を支援はしていません。今後、必要性が出てくるようであれば検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	3	0	最重要事項として全力を 挙げて対応している。	苦情があった場合は速やかに事実確認を行い、上層部に報告します。保護者の方や当事者に対しては、早急に改善策を提案するとともに、再発しないように職員間で共通理解を行うように努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	2	0	子供や保護者に発信している か分かりません。 情報内容、量の客観的 判断は難しいが、月1回 定期的に会報発行。IT 上にも転載	月に一度お便りを発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	11	0	1	日常的に職員間で注意 し合うことが多い	個人情報の持ち出しについては厳格に禁止し、扱いに十分に気をつけるようにしています。知り得た情報については、安易に外部で口にしないように指導しています。
保護者への説明責任等	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	2	0	会話(言葉)だけでなく、 文字・写真なども加えながら 配慮。	子ども達の様子や成長を見ながら、常に「伝わる方法」の手段を考えて提示するように心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	7	分かりません。 新施設となったばかり でまだ実績はない	実績はありません。今後の検討課題です。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	5	2	基本的なものは対応済み。 定期的に研修(職員)だけでなく利用者参加での 訓練も徐々に。	感染症については状況が変わることもあり、その都度対応しています。新施設になり、防犯や緊急時については話し合いを行い、準備中です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	8	1	分かりません。 基本的なものは対応済み。 定期的に研修(職員)だけでなく利用者参加での 訓練も徐々に。	月に一度の防災訓練に取り組んでいます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	3	1	月1、2回の職員会議の際に 定期的にそうした面をテーマに 取り上げ研修。	虐待についての知識を深めたり、自らの行動について振りかえりを行う目的で、職員会議の際に研修を行っています。実際の映像などを視聴したり、セルフチェックシートの記入を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	7	0	分かりません。 月1、2回の職員会議の際に 定期的にそうした面をテーマに 取り上げ研修。ただ計画への 記載については未確認	対象者がいる場合は保護者の方に説明し、計画にも記載しますが、今のところ対象者はおられません。
非常時等の対応							

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	5	0	<p>かかりませり。</p> <p>医師指示に基づく各家庭からの情報提供を受け</p>	対象家庭から情報提供を受けています。必要ならば、データのコピーをお預かりします。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	2	2	<p>全般的な事例に加え、独自の事例を年々積み上げ追加。</p>	ヒヤリハット報告書は職員間で必ず確認し、その後ファイリングして保管しています。事例集作成についても計画していきます。